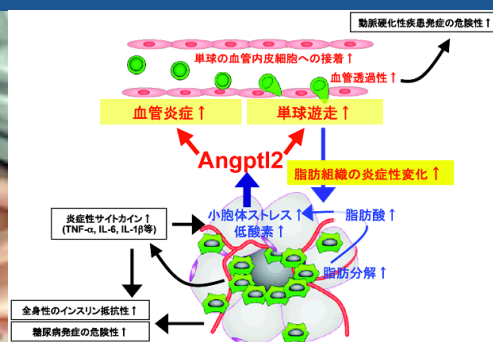


「慢性炎症と生活習慣病・がん」

尾池雄一 先生

熊本大学大学院生命科学研究部・医学系・分子遺伝学分野 教授

本セミナーは、
大学院セミナーを兼ねています



要旨

近年、運動不足や肥満により燻ったような低レベルの“慢性炎症”が各臓器/組織に生じ、様々な生活習慣病の病態形成に深く寄与することが注目されている。長期にわたるストレス応答のために実質細胞と多種の細胞から構成される間質細胞との相互作用が遷延化し、過剰応答や変調等の生体適応の破綻により組織リモデリングを生じて、臓器の機能不全をもたらすため、“慢性炎症”は、健康長寿を阻害する大きな要因となっている。このことは、“慢性炎症”の鍵となる因子を同定することが、生活習慣病・がんの分子病態の解明のみならず、新規治療戦略による健康長寿社会実現を考えるうえで重要であることを示唆している。本講演では、最近我々が同定した“慢性炎症”の鍵因子の1つであるアンジオポエチン様因子2 (Angptl2) の観点から健康長寿社会実現に向けた成果をご発表したい。

日時・場所

<日時>

平成23年10月21日
(金曜日)

午後5時30分～

<場所>

医学部機器センター
セミナー室(1F)



多数のご来聴をお待ちしております。

担当: 遺伝医学 成富研二、要 匡 (内線 1210)